

## 国際学類

### プログラム

国際学類では2年次から複数のプログラムに所属して専門教育科目を中心に学び、3年次進級時に各自が学びたいプログラムを1つに絞ります。

### 履修が望ましい科目等

専国際学入門【選必】、専国際学入門E(10090)【選必】、専日本文化【選必】、専日本文化E(10091)【選必】、専異文化理解1(10019)【選必】、専異文化理解2(10020)【選必】の履修を推奨します。また、外国語検定試験を積極的に受験することを強く推奨します。特に国際政治Eプログラム、国際経済Eプログラム、英語圏研究Eプログラム希望者は、3年次進級時にTOEFL-iBT 72以上、TOEFL-ITP 530以上又はIELTS 5.5以上のスコアを提出する必要があります。英語圏研究プログラム希望者は、3年次進級時にTOEFL-iBT、TOEFL-ITP又はIELTSのスコアを提出する必要があります(英語圏研究プログラム配属にあたってはスコアに基準はありません)。さらに、卒業要件に初習言語科目の単位を含むため、1年次から初習言語科目を履修することを強く勧めます。

### 1年次履修可能な専門教育科目 1年次配当の科目

[注] 1年次配当の専門教育科目の授業時間割 閲覧先:

国際基幹教育院Webサイト>新入生・在学生の方へ>総合教育部>学域学類の情報

<https://ilas.w3.kanazawa-u.ac.jp/students/総合教育部/学域学類の情報/>



## (2) 総合教育部(理系) 学生対象

主に、専門教育科目に関する案内です。【 】内は、専門教育科目の卒業要件を記載しています(【必】…必修 【選必】…選択必修 【選】…選択)。共通教育科目の卒業要件及びその他詳細は、『共通教育科目履修案内』で確認してください。

記号の説明

共…共通教育科目 専…専門教育科目 教…教育の基礎的理解に関する科目等

### 融合学域

#### 1年次履修可能な専門教育科目 1年次配当の科目

#### 履修が望ましい科目等

- ・基礎科目及び初習言語科目は、学類の修得すべき単位数及び条件を確認の上、履修してください。
- ・1年次配当の専門教育科目は総合教育部(文系及び理系)学生を想定したものではありませんが、興味を持った学生、希望する学生には、アントレプレナー基礎【必】、イノベーション基礎【必】(学域GS科目)、数理・データサイエンス基礎及び演習【必】(学域GS科目)、デザイン思考【必】(学域GS科目)、デザイン思考演習【必】(先導学類のみ)の履修を勧めます。
- ・これらの専門教育科目の履修人数を制限する場合があります。
- ・これらの専門教育科目はすべて2年次でも履修できます。

### 理工学域

#### 1年次履修可能な専門教育科目 1年次配当の科目

#### 1年次に修得が望ましい専門教育科目 アントレプレナーシップ論【必】(物質化学類は2年次履修)

## 数物科学類

### 履修が望ましい科目等

- ・1年次配当の専門教育科目は総合教育部(理系)学生を想定したものではありませんが、興味を持った学生、希望する学生には、専数学物理学基礎演習A【選必】、専数学物理学基礎演習B【選必】、専情報・計算科学基礎【選必】(3科目すべて学域GS科目)の履修を勧めます。
- ・基礎科目は、学類の必修及び必要単位数を確認の上、履修してください。
- ・次の科目は2年次以降の専門教育科目履修との兼ね合いから、可能であれば1年次に履修しておくことを勧めます。

教員免許を取得希望の場合→教教師論

中学校理科の教員免許を取得希望の場合→**因**化学実験

情報の教員免許を取得希望の場合→**専**情報・計算科学基礎【選必】(学域GS科目)、**専**計算科学【選必】

## 物質化学類

### 履修が望ましい科目等

- ・1年次配当の学域GS科目(学域俯瞰科目)を1単位分履修することを強く推奨します。
- ・**専**物理化学基礎A【必】、**専**物理化学基礎B【必】、**専**有機化学基礎A【必】、**専**有機化学基礎B【必】
- ・基礎科目は、学類の必修及び必要単位数を確認の上、履修してください。
- ・教育職員免許状の取得を希望する学生は、教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目(『共通教育科目履修案内』参照)と**因**教師論及び**因**化学実験(学類の必修科目)を1年次に履修することを強く推奨します。2年次4月上旬に教職ガイダンスを改めて実施します。

## 機械工学類

### 履修が望ましい科目等

- ・**専**微分方程式及び演習(時間割番号20301.005)【選】(Q3、Q4火曜2限)、**専**先端テクノロジー概論A【選必】(学域GS科目、Q3火曜5限)、**専**先端テクノロジー概論B【選必】(学域GS科目、Q4火曜5限)
- ・基礎科目は、学類の必修及び必要単位数を確認の上、履修してください。

## フロンティア工学類

### 履修が望ましい科目等

- ・**専**微分方程式及び演習(時間割番号20301.005)【選必】(Q3、Q4火曜2限)、**専**先端テクノロジー概論A【選必】(学域GS科目、Q3火曜5限)、**専**先端テクノロジー概論B【選必】(学域GS科目、Q4火曜5限)
- ・基礎科目は、学類の必修及び必要単位数を確認の上、履修してください。

## 電子情報通信学類

### 履修が望ましい科目等

- ・**専**微分方程式及び演習(時間割番号20301.005)【選】(Q3、Q4火曜2限)、**専**先端テクノロジー概論A【選必】(学域GS科目、Q3火曜5限)、**専**先端テクノロジー概論B【選必】(学域GS科目、Q4火曜5限)
- ・基礎科目は、学類の必修及び必要単位数を確認の上、履修してください。

## 地球社会基盤学類

### 履修が望ましい科目等

- ・**因**データサイエンス基礎、**因**地域概論、**因**物理学I A、**因**物理学I B、**因**化学I A、**因**化学I B、**因**地学I A、**因**地学I B、**因**微分積分学I A、**因**微分積分学I B、**因**線形代数学I A、**因**線形代数学I Bの単位を修得しておかないと2年次開講の必修科目等が取れず留年する可能性があります。
- ・**因**物理学実験と**因**化学実験は選択必修であり、どちらかの単位を修得する必要があります。
- ・基礎科目として、前述の必修科目、選択必修科目のほかに、4科目(4単位)、合計で16単位が必要です。
- ・基礎科目は、学類の必修及び必要単位数を確認の上、履修してください。
- ・一級建築士受験資格を得るためには、建築学副専攻を修了する必要があります。
- ・教育職員免許状の「理科」の免許と「工業」の免許では、必要な科目が異なります。「理科」の教育職員免許状には**因**教師論が必要です。中学校1種免許状(理科)を取得する場合は、**因**物理学実験/**因**化学実験/**因**生物学実験が必要です。
- ・**専**「微分方程式及び演習」(選択必修基礎)は1年次後期の履修を勧めますが、2年次後期でも履修できるようにしています。コース配属後の時間割で確認してください。

## 生命理工学類

### 履修が望ましい科目等

- ・**専**生命理工学概論 A【選】、**専**生命理工学概論 B【選】、**専**生物科学概論 A【選必】、**専**生物科学概論 B【選必】  
(生命理工学類の内容を理解する上で参考になりますので履修を薦めます。)
- ・GS科目「**医**細胞・分子生物学」を履修することを望みます。
- ・教育職員免許状の取得を希望する学生は、教育職員免許法及び同施行規則に定められた単位を修得しなければなりません。生命理工学類で取得できる教育職員免許状の種類や免許状の取得に必要な単位の修得方法は、『理工学域履修案内』及び『共通教育科目履修案内』に記載しています。中学校1種免許状(理科)を取得する場合は、**医**物理学実験、**医**化学実験及び**医**地学実験の修得が必要です。地学実験については、理工学域2年次以上を対象とした科目での修得を推奨します。

[注] 1年次配当の専門教育科目の授業時間割 閲覧先：  
国際基幹教育院Webサイト>新入生・在学生の方へ>総合教育部>学域学類の情報  
<https://ilas.w3.kanazawa-u.ac.jp/students/総合教育部/学域学類の情報/>



## 医薬保健学域

1年次履修可能な専門教育科目 収容人数等の関係上、履修可能な専門教育科目はありません。

## 医学類

### 履修が望ましい科目等

- ・医学類を目指すならば、例えば、GS科目の「**医**細胞・分子生物学」を履修する等、生命科学を学ぶことを望みます。
- ・共通教育科目の履修は、移行点対象科目及びその他医学類で定める修得すべき共通教育科目のうち導入科目を含めて36単位以上の修得及び専門教育科目「**専**アカデミックスキル」「**専**プレゼン・ディベート論」を総合教育部1年次に修得してください。未履修や単位不足があると、医学類に移行した時点で、次年度、3年次に進級できないことが確定する場合があります。
- ・移行前学修として、1年次の春季休業期間に一部の専門教育科目を開講します。詳細は、別途案内します。

## 薬学類

### 履修が望ましい科目等

- ・**医**統計数学A、**医**統計数学B
- ・**専**アカデミックスキル」「**専**プレゼン・ディベート論」以外の専門教育科目は、学類移行後の2年次から履修します。
- ・共通教育科目は可能な限り1年次に修得してください。導入科目及び「**専**アカデミックスキル」「**専**プレゼン・ディベート論」に未履修や単位不足があると2年次以降での修得が困難となる場合があります。

## 保健学類

### 履修が望ましい科目等

- ・本来1年次で修得すべき「**専**アカデミックスキル」「**専**プレゼン・ディベート論」以外の専門教育科目は、学類移行後の2年次で履修し、履修登録単位数の上限超過は保健学教務委員会で審議します。
- ・共通教育科目は可能な限り1年次に修得してください。導入科目及び「**専**アカデミックスキル」「**専**プレゼン・ディベート論」に未履修や単位不足があると2年次以降での修得が困難となる場合があります。